



環境基準健康項目と要監視項目の見直し結果を答申 - 環境省 -

平成16年2月26日、中央環境審議会水環境部会による「水質汚濁に係る人の健康保護に関する水質環境基準の見直しについて」の第1次報告がまとめられ、同日付で中央環境審議会会長が環境大臣に対しこの報告の内容を答申しました。

水質汚濁に係る人の健康保護に関する環境基準については、常に適切な科学的判断が加えられ必要な改定がなされなければならないこととされており、平成5年及び11年に見直しが行われています。それ以降の科学的知見の蓄積状況や、世界保健機関(WHO)の飲料水水質ガイドラインの全面改訂、厚生労働省の水道基準見直しなどの流れを受け、平成14年8月15日、環境大臣から中環審に対し諮問が行われました。

今回の答申は、環境基準健康項目は従来の内容を維持すると結論した一方で、要監視項目については、毒性情報や公共用水域等における検出状況等から5項目を新たに新設し(表1)、既定の22項目についても2項目の指針値を見直す(表2)としました。

環境省では、この答申を踏まえ、必要な措置を講じていく方針です。

表1 新たに追加する要監視項目

項目名	指針値
1 塩化ビニルモノマー	0.002mg/l 以下
2 エピクロロヒドリン	0.0004mg/l 以下
3 1,4-ジオキサン	0.05mg/l 以下
4 全マンガン	0.2mg/l 以下
5 ウラン	0.002mg/l 以下

備考 指針値は年間平均値とする。

表2 指針値を見直す既定要監視項目

項目名	新たな指針値	現行の指針値
1 p-ジクロロベンゼン	0.2mg/l 以下	0.3mg/l 以下
2 アンチモン	0.02mg/l 以下	-

備考 指針値は年間平均値とする。

資料: 2004年2月26日付 環境省ホームページ

EIC ネット

総務部 横山 美代子

「学校環境衛生の基準」の改訂(通知)

平成16年2月10日付けで学校環境衛生の基準の改訂が通知されました。

主な改訂点は以下の内容です。

<検査事項の改訂について>

1. 教室等の空気において、「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」において、特に必要と認める場合は、「エチルベンゼン」「スチレン」についても検査を行うこととしました。
2. 教室等の空気において、「ダニ又はダニアレルゲン」が新たに盛り込まれました。
3. 飲料水の管理において、「外観」を「色度・濁度」、「大腸菌群」を「大腸菌又は大腸菌群」に「有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)」を「有機物等(過マンガン酸カリウム消費量または全有機炭素(TOC))」に改め、「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」は削除されました。

<検査頻度の改訂について>

1. 飲料水の管理において、水質の検査回数を「水道水を原水とする飲料水(専用水道を除く)」については毎学年1回定期に行い、「専用水道及び専用水道に該当しない井戸水等」について検査事項ごとに検査回数を定めました。
2. 雨水等利用施設における水の管理において、雨水を飲用以外の用途に使用する場合「水質」「施設・設備」を新たに検査項目として盛り込み、検査回数はいずれも「毎学年2回定期」としました。

その他の改訂内容として、「照度及び照明環境」「騒音環境及び騒音レベル」の判定基準の変更、「飲料水の管理」に関し貯水槽の毎学年1回以上の清掃、などが盛り込まれています。これら新基準は平成16年4月1日から適用されます。

資料: 2004年2月10日付 文部科学省 報道発表資料
機器分析箇所 金子圭介

下記の記事をご希望の方は編集室佐藤までご連絡下さい。

1. 都市公園の土や砂から鉛検出
2. 産廃不法投棄に罰則 環境省
3. 「水道施設の技術的基準を定める省令の一部を改正する省令及び資機材等の材質に関する試験の一部改正について」(平成16年2月9日健水発第0209001号)
4. 「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部を改正する省令及び給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部改正について」
5. フッ素加工用物質 河川、湖沼から検出 環境省
6. 計5農薬の水質汚濁に関する農薬登録保留基準値新設・改正 環境省
7. 日本製OFケーブルからの微量PCB検出事例138件が判明 環境省
8. ダイオキシン血中濃度調査結果 環境省
9. シックハウス症候群・化学物質過敏症に関する医学的知見 厚生労働省



事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
- 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 4 水道法第20条に基づく水質検査
- 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
- 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 7 トータルサニテーション管理
- 8 委託試験・研究・開発

